

検 定 意 見 書

受理番号 26-113		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	左	資料 環境に配慮した建物…231	相互に矛盾している。 (231ページと矛盾)	3-(1)	
2	14	図7	世帯数の変化	不正確である。 (出典)	3-(1)	
3	18	側注1	英語で団らんはHappy circleという。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語で団らんはHappy circle」)	3-(3)	
4	20	囲み	家庭内暴力 高齢者虐待に対しては2006年に高齢者 虐待防止法が定められた。	不正確である。 (「2006年」)	3-(1)	
5	22	囲み	フランスの場合 (PACS) 即婚者と同等の権利	誤記である。 (「即婚者」)	3-(2)	
6	22	表19	④近親婚の禁止 直系血族または3親等内の傍系血族の 間や、直系婚族の間では婚姻すること ができない	不正確である。 (「直系婚族」)	3-(1)	
7	25	左下	婚姻 (日本国憲法) ①婚姻は、両性の合意のみに基づいて 成立し、	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)	
8	33	左上	生活習慣 はいはいやつかまり立ちを する 折込4 夜泣きをする	相互に矛盾している。 (37ページ 「2生活習慣とは」と矛盾)	3-(1)	
9	42	表10	模倣遊び (ごっこ遊び 1歳半～6・7歳)	生徒にとって理解し難い表現である。 (模倣遊びの変化のめやすとして)	3-(3)	
10	44	囲み	理想の子ども数と実際の子ども数	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 2 枚目

受理番号 26-113		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	45	図	初婚年齢の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
12	46	囲み	児童虐待の推移 児童虐待の4つの種類 児童相談所における児童虐待相談の種類と虐待者の内訳の図 (グラフはすべて、厚生労働書「福祉行政報告例」平成23年より)	不正確である。 (4つの種類の説明, 「厚生労働書」, 「平成23年」)	3-(1)
13	54		子育てにかかわる人は? 保育士, 児童指導員, 児童福祉司	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもの成長を支える仕事について, 誤解するおそれがある。)	3-(3)
14	62	図9	高齢者の地域活動・ボランティア活動への参加	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
15	63	7	日本の多くの企業では定年年齢が65歳であるため,	誤りである。 (「65歳」)	3-(1)
16	64	7 - 9	地域の祭りや, 自治体・福祉施設などが行っている世代間交流の施設,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「世代間交流の施設」)	3-(3)
17	66	表3	介護労働者が現在の仕事を選んだ理由 (複数回答)	誤記である。 (「労働者」)	3-(2)
18	98	囲み	給与明細の読みとき方 所得労働時間を超えて働いた時に手当が支給される。	不正確である。 (「所得労働時間」)	3-(1)
19	108	9 - 11	食生活の改善に対する指標として, 2000年に文部科学省, 厚生労働省, 農林水産省が合同で, 食生活指針を策定した。	不正確である。 (「文部科学省, 厚生労働省」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-113		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	109	囲み	ユネスコへの無形文化遺産登録申請書ではどうなっているの？	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	
21	110	左	水の働き 豊田功ほか「図表 食品学と食生活 (第2版)」などより作図	誤りである。 (「豊田功」)	3-(1)	
22	110	図1	脂質 左上の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (何の写真であるのかが不明)	3-(3)	
23	111	1	2栄養素の働き (復習しよう！)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「復習しよう！」)	3-(3)	
24	112	囲み	トランス脂肪酸 日本でも2013年に消費者庁による含有量表示のガイドラインが発表された。	不正確である。 (「2013年」)	3-(1)	
25	112	側注4	血液中の脂質が多すぎることでおこり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (脂質異常症について)	3-(3)	
26	112	図5	パルチミン酸 (120ページ 表25も同じ)	誤りである。 (「パルチミン」)	3-(1)	
27	113	表8	*成長期の子どもには必須である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必須アミノ酸について)	3-(3)	
28	113	囲み	たんぱく質の補足効果とは？ 図 89 (リシン) 現在では「日本人が食べているたんぱく質については、アミノ酸価を充足しないものはない (日本食品標準成分表	生徒にとって理解し難い表現である。 (アミノ酸価について、記述が整理されていない。)	3-(3)	
			準拠アミノ酸成分表2010より)」とされている。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 4 枚目

受理番号 26-113		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
29	114	図10	ナトリウム（食塩相当量）の目標量と実際の摂取量（目標量をオーバー） 実際の摂取量	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
30	115	6 - 9	水溶性ビタミンは、過剰に摂取しても、基本的には尿などと一緒に排出されるため、過剰症はおこらないが、脂溶性ビタミンは、サプリメントなどで過剰に摂取し続けると、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （水溶性ビタミンの過剰症について）	3-(3)
31	115	囲み	ほうれん草のゆで時間によるビタミンC残存率 横軸	図は、通常の約束に従って記載されていない。 （横軸の目盛り）	固有 3-(1)
32	118	図19	（厚生労働省「国民健康・栄養調査」平成23年より）	不正確である。 （「平成23年」）	3-(1)
33	119	図22	卵白の栄養 卵黄の栄養	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
34	120	囲み	バターをつくってみよう！ *分離した液体部分はホエイとよばれ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ホエイについて）	3-(3)
35	122	囲み	減塩を目指して 図	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)
36	123	表31	保健機能食品の位置づけ	生徒にとって理解し難い表である。 （特定保健用食品マークの位置）	3-(3)
37	125	囲み	冷蔵庫の温度帯と保存食品 チルド 冷蔵庫より低く、 野菜室 冷蔵庫よりやや高め温度。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「冷蔵庫より」（2箇所））	3-(3)
38	127	中	肉類 選び方の基本 右の写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （例として極端すぎるため、古い肉の外観について誤解のおそれがある。）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-113		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
39	129	表	食品添加物の種類 風味, 外観の向上 甘味料, 調味料, 酸味料	生徒にとって理解し難い表現である。 (食品添加物の種類について, 記述が整理されていない。)	3-(3)				
40	133	囲み	家族の献立を立てよう! 3. 立てた献立をチェックしてみよう。 家族の年齢・性格・好みと合っているか	生徒にとって理解し難い表現である。 (「性格」)	3-(3)				
41	134	表	【身体活動レベル別推定エネルギー必要量(参考表)】 (kcal)	不正確である。 (「kcal」)	3-(1)				
42	135	表	【日本人の食事摂取基準】	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
43	136	表	4つの食品群による摂取量のめやす	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
44	137	図	4つの食品群による食品構成の例 4群 穀類 男 400g	不正確である。 (「400」)	3-(1)				
45	138	表	1日の献立例を見てみよう	生徒にとって理解し難い表現である。 (1日の献立例の表として)	3-(3)				
46	140	囲み	【魚の下ごしらえ(アジの三枚おろし)】	相互に矛盾している。 (写真と説明が矛盾)	3-(1)				
47	145	囲み	料理のおいしさを表現してみよう! 日本語は, 一般的に料理の状態や味を表す「ほくほく」「カリカリ」などの擬音語(オノマトペ)が多い言語といわれている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「状態や味を表す「ほくほく」「カリカリ」などの擬音語(オノマトペ)」、「擬音語から,」)	3-(3)				
			擬音語から, 連想する味や料理の印象について考えてみよう。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-113		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
48	147	上	豚の冷しゃぶ こんぶだし材料 水 25mL こんぶ(素干し) 5g 149ページ 野菜のホイル焼き たまねぎのイラスト 156ページ 五目肉団子スープ	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (水に対するこんぶの量, たまねぎ薄切りの切り方, 中華だしを溶く水の量について)	2-(13)	
			私と母用, おばあちゃん用 中華だし			
49	156	中	甥っ子用 *2幼児初期は控え、中後期に少しずつ 風味程度に加える。	相互に矛盾している。 (「甥:10か月」と矛盾)	3-(1)	
50	156	中	五目肉団子スープ 片栗粉…小さじ1/4g 醤油…小さじ1/5g 酢…小さじ1/6g 以下同様の箇所(11箇所)	誤記である。 (g)	3-(2)	
51	162	囲み	さまざまな食べ方 【手食】 東アジアやアフリカなどで使われる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東アジアの食べ方について)	3-(3)	
52	164	11	旬な食材は、安価で味がよく、栄養的 にもすぐれている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (旬の食材の栄養価について、記述が不足している。)	3-(3)	
53	165	囲み	【環境をを考えて食べる】 ①食品廃棄物の表 * ①②は厚生労働省「食品廃棄物等の利用 状況について」,	生徒にとって理解し難い表現である。 (表中に*がない, 出典)	3-(3)	
54	165	図	【環境をを考えて食べる】 ⑤食品を使用せずに廃棄した理由	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)	
55	171	上	流行色とは? そして、6か月前～実際のシーズンに かけてコレクションやアパレル展示会 によって公表される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (流行色の公表時期について)	3-(3)	
56	175	図6	繊維が布になるまで 紡糸 及び、同ページ 7～8行 原料から化 学繊維をつくることを紡糸という。	相互に矛盾している。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 7 枚目

受理番号 26-113		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
57	177	表9	易燃性 繊維の例	生徒が誤解するおそれのある表である。 (キュプラ, レーヨン, 綿とアセテート, アクリル などの燃え方が同じであるかのように誤解するおそ れがある。)	3-(3)
58	178	下	ゆかたのそで 図	生徒にとって理解し難い図である。 (肩)	3-(3)
59	179	囲み	コルセットは14世紀後半に, ヨーロッパ でからだの線を整えるための補正下 着として登場した。	不正確である。 (「14世紀後半」)	3-(1)
60	198	表5	商業洗濯の種類 及び, 家庭洗濯	相互に矛盾している。	3-(1)
61	198	表5	特徴 水溶性塗料で染色した衣服は色落ちす る可能性がある。	誤りである。 (「水溶性塗料」)	3-(1)
62	200	図11	輸入浸透度=輸入量÷(生産量+輸入 量-輸出量)	不正確である。 (輸入浸透度の式)	3-(1)
63	201	囲み	無駄のない衣服生活を 繊維製品の廃棄率 (日本総合研究所資料より作成)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
64	202	上	日本の伝統的な衣服 及び, 裂織	相互に矛盾している。	3-(1)
65	203	中	ライフステージのなかの行事と和装の 例 及び, 浴衣	相互に矛盾している。	3-(1)
66	221	表	各国の住宅賃料, 価格の比較 (2013年)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 8 枚目

受理番号 26-113		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
67	230	図13	検察混合廃棄物	誤記である。 (「検察」)	3-(2)
68	237	図4	(厚生労働省「厚生労働白書」平成25年版より作成)	不正確である。 (「平成25年版」)	3-(1)
69	240	側注1	1960年代にデンマークのバンク＝ミケルセンが最初に提唱した。	不正確である。 (「1960年代」)	3-(1)
70	244	図1	小型家電リサイクル法 (2002年制定, 2008年改正)	不正確である。 (「2002年制定, 2008年改正」)	3-(1)
71	口絵9		1998 家電リサイクル法施行	不正確である。 (「施行」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 1 枚目

受理番号 26-114		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	3	左	もくじ 6ビタミンの働きと食品 127 及び, 127ページ 6ビタミンの働き	相互に矛盾している。	3-(1)
2	13	下	2ライフステージの特徴と発達課題の例 児童期 小学生のころ 及び, 青年期 小学校高学年ころ～	相互に矛盾している。	3-(1)
3	26	側注4	「高齢者虐待の防止, 高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」。2007年制定。	不正確である。 (「2007年」)	3-(1)
4	31	囲み	離婚後の親子関係 2012年に民法第766条「離婚後の子の監護に関する事項の定め等」が改正された。	不正確である。 (「2012年」)	3-(1)
5	39	囲み	助産師 病気や診療所, 助産院などで	誤りである。 (「病気」)	3-(1)
6	41	図11	新生児にみられる生理的な特徴 (タイトル) 身長, 体重の図	生徒にとって理解し難い表現である。 (「新生児にみられる」, 2本の線の説明がない。)	3-(3)
7	42	図14	みかけに左右される ▲同じ数でも, みためが違うと違う数や量に思ってしまう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「同じ数でも, 」)	3-(3)
8	47	囲み	try&hint ①さしばしでほぐし,	誤りである。 (「さしばし」)	3-(1)
9	49	囲み	みんなで楽しく遊べるおもちゃ 共有玩具マーク (2箇所)	不正確である。 (「共有」)	3-(1)
10	50	22	子どもの成長・発達の道すじは, 一人ひとり大きく異なる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもの成長・発達について)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 2 枚目

受理番号 26-114		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	53	囲み	try&hint 32を参考にして、	誤りである。 (「32」)	3-(1)
12	55	囲み	子ども・子育て新システム ▲「子ども・子育て支援法」(2012年 制定)にもとづいて2015年度より実施 している。	不正確である。 (「子ども・子育て新システム」)	3-(1)
13	55	図37	親が必要だと思う子育て支援	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
14	55	囲み	子育て支援の動き くるみん 行動計画を立てている事業所と認定さ れると、	不正確である。 (「行動計画を立てている事業所と認定」)	3-(1)
15	56	囲み	増える保育の場 「事業内保育所」	不正確である。 (「事業内保育所」)	3-(1)
16	56	図38	集団保育の施設 地域型保育	生徒にとって理解し難い表現である。 (集団保育の施設の説明として)	3-(3)
17	57	図41	子どもの貧困率の国際比較	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
18	108	側注2	農業共同組合(農協)などの協同組合	誤記である。 (「農業共同組合」)	3-(2)
19	112		④トルコの肉料理 及び、地図④	相互に矛盾している。	3-(1)
20	115	図4	朝食の摂取と学力との関係(中学生)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 3 枚目

受理番号 26-114		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	116	図7	国民一人1年当たりの品目別消費量の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
22	116	図8	外食率と食の外部化率の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
23	117	図9	BMIによる肥満とやせの割合(2011年)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
24	118	図11	栄養素の消化・吸収	不正確である。 (おもな消化酵素, 吸収後の説明)	3-(1)
25	119	側注1	色や味, 香りの成分は, 総称してポリフェノールと呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (色や味, 香りの成分がすべてポリフェノールであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
26	120	図16	さつまいも 1食50g 1.9g	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (調理前のさつまいもの食物繊維量であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
27	120	表14	おもな炭水化物の種類と働き(タイトル) 名称(物質名)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表の内容に照らして)	3-(3)
28	120	表15	でんぷんの構造と食品中の含有割合 うるち米 アミロース0% アミロペクチン100% もち米 アミロース20% アミロペクチン 80%	誤りである。 (アミロース, アミロペクチンの含有割合)	3-(1)
29	122	囲み	20脂質の種類	生徒にとって理解し難い表現である。 (脂質の種類の説明として, 記述が整理されていない。)	3-(3)
30	123	7 - 9	最近では, ダイエット効果を期待したジアシルグリセロールや中鎖脂肪酸, ビタミンEなどを配合した食用油なども市販されている。	不正確である。 (「ジアシルグリセロールや」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 4 枚目

受理番号 26-114		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	123	囲み	油脂の調理性 乳化性 油の滴が水分中に分散し、混ざり合う ドレッシング マヨネーズ	不正確である。 (ドレッシング、マヨネーズの乳化の説明として)	3-(1)
32	124	表25	B/A×100 (アミノ酸価) [注] 文部科学省編「日本食品標準アミノ酸成分表2010」	不正確である。 (「(アミノ酸価)」, 「日本食品標準アミノ酸成分表2010」)	3-(1)
33	124	図26	食品のアミノ酸価	生徒にとって理解し難い表現である。 (図のアミノ酸価の算出方法について、基準が不明確)	3-(3)
34	124	表27	たんぱく質の種類と働き	表27は、124～125ページの記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(12)
35	125	8 - 9	赤身の魚 側注2 基準値以下だが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「基準値」)	3-(3)
36	125	表28	上の食品のアミノ酸価はアミノ酸評点パタン(18歳以上用)で計算した場合、すべて100。	誤りである。 (「すべて100。」)	3-(1)
37	125	表32	乳化性 たんぱく質のレンチンは	誤りである。 (「たんぱく質の」)	3-(1)
38	127	15	さわやかな酸味とうま味がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (くだもの類のうま味について)	3-(3)
39	127	囲み	ビタミンと調理性 水溶性ビタミン 熱や酸による損失が大きい。 図36 ほうれんそうのゆで時間によるビタミンCの残存率	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水溶性ビタミンの調理による損失について)	3-(3)
40	130	3	栄養価も高い。 135ページ 旬のよさ 栄養価が高く、	生徒にとって理解し難い表現である。 (旬の食材の栄養価について、記述が不足している。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 5 枚目

受理番号 26-114		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	130	21	必要最低限の摂取となるよう適切に選択しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「必要最低限の摂取」)	3-(3)
42	132	図50	消費期限と賞味期限	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
43	134	4 - 5	年間約660万人の子どもが栄養失調で命を落としている。 側注1 毎日18,000人、4.8秒に一人の幼い命が失われている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもが命を落とす理由について)	3-(3)
44	135	図61	旬とエネルギー (トマトの場合)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
45	138	図64	乳児期 課題	相互に矛盾している。 (46ページ図17と矛盾)	3-(1)
46	142 - 143	表68	日本人の食事摂取基準 (2015年版)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
47	149	図86	蒸しもの 凝縮で加熱する。 寄せもの 寒天,ゼラチン,でんぶんの液に食品を混ぜ合わせてかためる。 寄せものの囲みの位置 左数値の単位	生徒にとって理解し難い表現である。 (調理方法の種類の図として)	3-(3)
48	149	上	電磁調理器 電磁調理器と金属鍋の間に渦電流を起こし,鍋側に発生する抵抗熱で加熱する。	不正確である。 (「間に」)	3-(1)
49	151	図98	縦軸	図は,通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸について説明がない。)	固有 3-(1)
50	152	左	麻婆豆腐丼 材料 C	生徒にとって理解し難い表現である。 (材料Cについて不明確)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 6 枚目

受理番号 26-114	学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
-------------	---------	-------	---------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
51	157	左	ひじきの煮もの (163ページ 卵焼きも同じ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ひじきの煮物, 卵焼きの塩分量)	3-(3)
52	158	左	トマトサラダ 酢…5g (小さじ1 1/2) 159ページ 炒菜 しょうゆ…2.4g (小さじ1/3) 酒…2g (小さじ1/3)	相互に矛盾している。 (147ページ 表79と矛盾)	3-(1)
			161ページ 豚汁 サラダ油…1.2g (小さじ1/5) 裏見返4 ご飯を炊く 米…80g (カップ1/2)		
53	158	右	ごぼうサラダ 栄養価 (161ページ クラムチャウダーも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)
54	160	右	ベーコンとしいたけの簡単スープ 1切る 生しいたけは, かさを薄切りにする。 及び, イラスト下 せんぎり	相互に矛盾している。	3-(1)
55	163	左	おにぎり 材料 焼きのり…1枚 (1/4枚×2)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「1枚 (1/4枚×2)」)	3-(3)
56	165	図10 1	主菜 ご飯, パン, めん 白い食品が多い。	誤りである。 (「ご飯, パン, めん 白い食品が多い。」)	3-(1)
57	168	左下	2汗や皮脂を吸収したシャツ ニンヒドリン溶液 (水300mlとニンヒドリン1gを混ぜた液) をスプレーして, 汗や皮脂を検出したもの。 及び, ニンヒドリンは, たんぱく質や	相互に矛盾している。	3-(1)
			尿素に反応して青紫色に発色する薬品。		
58	172	囲み	毛や皮革などの繊維よりも熱伝導率が低い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「皮革などの繊維」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 7 枚目

受理番号 26-114	学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
-------------	---------	-------	---------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
59	177	左	22紫外線を遮る方法 明度が低いほど遮る ポリエステルは紫外線を吸収する性質 があるため効果的	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (紫外線を遮る方法について)	3-(3)
60	177	表24	えりのタグ 刺激の大きい糸の太いものやスケール のあるウールなどは、直接触れないよ うにする	誤りである。 (対策として)	3-(1)
61	187	下	52布の表と裏のみわけかた 模様や色がはっきりしている 光沢がある みみの文字が読める	生徒にとって理解し難い表現である。 (表と裏をみわけることができず理解し難い。)	3-(3)
62	192	左	①型紙のつくりかた 図 肩幅22	誤りである。 (「22」)	3-(1)
63	198	図6	1階の図 引き違い戸で出入りを容易にしている 201ページ 12図	生徒にとって理解し難い表現である。 (「引き違い戸」)	3-(3)
64	203	囲み	try&hint 段板に滑り止めはあるか 踏み面が滑りにくくないか 階段の図	生徒にとって理解し難い表現である。 (「踏み面」, 「段板」)	3-(3)
65	204	図16	日照の効果	生徒にとって理解し難い表現である。 (日照の効果について、記述が整理されていない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 1 枚目

受理番号 26-123	学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
-------------	---------	-------	---------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	20	20	現行民法（1947年改正施行）では、 （同ページ 表18 現行民法 1947年 （昭和22）年改正施行も同じ）	不正確である。 （「改正施行」）	3-(1)
2	36	22 - 24	新生児のころには、すでに満足・喜び ・悲しみの感情をあらわし、3か月こ ろまでには、驚き・喜び・悲しみの感 情をあらわすこともわかってきた。	生徒にとって理解し難い表現である。 （喜び・悲しみの感情をあらわす時期について）	3-(3)
3	40	7	多くの人に守り、支えられて生きてき た。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「守り、支えられて」）	3-(3)
4	61	図28	イギリス 5.9	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
5	62	図30	2013年4月サービス分 447	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
6	62	右下	32介護保険制度のしくみと介護サービ ス 要介護認定 介護保険審査会において、	不正確である。 （「介護保険審査会」）	3-(1)
7	65	側注4	高齢者虐待 ②擁護を著しくおこたる	誤記である。 （「擁護」）	3-(2)
8	69	図5	平均寿命と健康寿命の差 （日常生活に制限のない期間）	生徒にとって理解し難い表現である。 （「制限のない」）	3-(3)
9	74	左	4障害者権利条約（一般条約）	不正確である。 （「一般条約」）	3-(1)
10	83	図5	消費者物価指数	生徒にとって理解し難い図である。 （原点）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 2 枚目

受理番号 26-123		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	90	右下	リボルピング払いの支払い例 255円 (50,000円×15%÷365日×31日)	不正確である。 (「50,000円」)	3-(1)				
12	93	右下	21消費者の8つの権利 (同ページ 22消費者の5つの責任も同じ)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				
13	104	側注1	体重 (Kg)	表記の基準によっていない。 (「Kg」)	3-(4)				
14	106	図9	(内閣府「2013年版 食育白書」)	不正確である。 (「2013年版」)	3-(1)				
15	114	囲み	おもな魚料理のなかのIPA量 くろまぐろ 刺身 5切60g IPA約870mg	不正確である。 (「くろまぐろ 刺身」)	3-(1)				
16	116	表27	含流アミノ酸 ※含流アミノ酸は	誤りである。 (「含流」)	3-(1)				
17	118	囲み	人体に含まれる無機質 有機物質(水素, 酸素, 炭素, 窒素) のほかに,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「有機物質(水素, 酸素, 炭素, 窒素)」)	3-(3)				
18	119	囲み	食品の機能性成分 カロテノイドの仲間 カプサイシン	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (カプサイシンが他の成分と同様にカロテノイド類とされるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
19	120	左中	缶詰, レトルト食品 一般にはレトルトパウチ食品ともいわれる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (缶詰, レトルト食品, レトルトパウチ食品について)	3-(3)				
20	122	図36	食中毒の発生原因 (事件数別割合)	生徒にとって理解し難い図である。 (発生原因別事件数, 事件数別割合, 事件総数について)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 3 枚目

受理番号 26-123		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	122	表37	食中毒の原因と予防法	生徒にとって理解し難い表現である。 (細菌性食中毒の種類と説明, じゃがいもの扱い, ヒスタミンによる食中毒の関連食品と予防方法について不明確)	3-(3)
22	124	17 - 19	農産物, 畜産物, 水産物はいずれも生産場所や生産方法が異なるため, 原産地を表示することになっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生産場所や生産方法が異なるため, 原産地を表示する」)	3-(3)
23	124	下	information その効果は岩塩のなかの亜硝酸塩であることがわかり,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (岩塩をつけた肉が変色しにくく食中毒にもなりにくい理由について)	3-(3)
24	125	15	その他あわびなどを使用した場合はその表示が推奨されている。	誤りである。 (あわびの遺伝子組み換え表示の推奨)	3-(1)
25	127	表48	ビタミンD (μg日)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
26	129	表50	赤群 摂取できる栄養素 ビタミンB	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ビタミンB」)	3-(3)
27	129	表51	第1群 肉類 第6群 豚ばら肉	生徒にとって理解し難い表現である。 (肉類の分類について)	3-(3)
28	131	表55 表56	6つの食品群の食品群別摂取量のめやす 6つの食品群の食品群別概量	生徒にとって理解し難い表現である。 (計算方法, 1日分のとり方について記述不足)	3-(3)
29	132	図58	1献立を考える 汁物を決める +果物や飲み物・汁物を決める	生徒にとって理解し難い表現である。 (「汁物を決める」(2箇所))	3-(3)
30	134	囲み	いろいろな調理法と特徴 5℃~0℃ 寄せる 寒天, ゼラチン, でんぷんなどの液に食品を混ぜ合わせてかためる	生徒にとって理解し難い表現である。 (でんぷんの液のかたまる温度について)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 4 枚目

受理番号 26-123		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	135	囲み	計量器 米の「1カップ」とはこの1合カップのことをさす。	不正確である。 (記述不足)	3-(1)
32	143	囲み	本格的なブイヨンの取り方	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (本格的な取り方について不明確)	2-(13)
33	144	下	青椒肉絲 栄養価 ビ 47mg	相互に矛盾している。 (145ページの栄養価の記号と矛盾)	3-(1)
34	146 - 147		かぼちゃの茶きんサラダ 写真 及び、つくり方2 皮をのぞく	相互に矛盾している。	3-(1)
35	148	中	ハッシュドビーフ、ポテトサラダ 栄養価 (153ページ はるさめと肉だんごの中華スープ, 158ページ いりどりも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)
36	149	囲み	マヨネーズのつくり方 材料 砂糖 及び、つくり方	相互に矛盾している。	3-(1)
37	151	右下	涼拌三絲 きゅうりのせん切りのイラスト	生徒にとって理解し難い図である。 (重ね方)	3-(3)
38	157	中	奶豆腐 ※棒寒天を使う場合：1.3g(液体の1%)の棒寒天を洗ってボールに入れ、水で戻す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「1.3g(液体の1%)」)	3-(3)
39	160	図71	*自給率カロリーベース 食料のもっているカロリーを基準にして全食料中の輸入量を計算する。	不正確である。 (「輸入量を」)	3-(1)
40	160	図72	品目別食料自給率(カロリーベース)の推移	不正確である。 (「(カロリーベース)」, 横軸)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 5 枚目

受理番号 26-123	学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
-------------	---------	-------	---------	----

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	165	表4	電子レンジ加熱とガス加熱の比較	生徒にとって理解し難い表現である。 (加熱時間と光熱費の関係について)	3-(3)
42	165	表7	脚注 *所要時間は「沸騰または蒸気噴出までの時間」－「加熱継続時間」－「むらし時間」であらわした。 () 内は合計の時間。	生徒にとって理解し難い表現である。 (所要時間の記述について)	3-(3)
43	170 - 171	下	9日本の被服の変遷と洋服化 平安, 安土・桃山, 江戸, 昭和・平成のイラスト	不正確である。	3-(1)
44	182	左下	(4) 縫製用具 指抜き (同ページ 下 information 指抜きも同じ(2箇所))	不正確である。 (「指抜き」)	3-(1)
45	183	6 - 7	見積もることを用尺という。	誤りである。 (用尺について)	3-(1)
46	183	右	30地直し 地直し前の図及び, (布を矢印方向に引き下げて)	相互に矛盾している。	3-(1)
47	188	上	2材料 用尺: 布幅90 (110) cmの場合 (身ごろのたけ+縫いしろ) ×2	不正確である。 (「身ごろのたけ」)	3-(1)
48	195	表38	ウォッシュ&ウエア (W&W) 加工 目的 吸湿性がある。かたく涼感がある。丈夫で、ぬれると強くなる。	誤りである。 (ウォッシュ&ウエア加工の目的として)	3-(1)
49	195	表38	抗菌・防臭加工 目的 細菌の繁殖と悪臭を防ぎ、細菌などによって発生する悪臭を防ぐ。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
50	200	図49	注2: $\text{輸入浸透率} = \frac{\text{輸入率}}{\text{生産量} + \text{輸入量} - \text{輸出量}} \times 100$	不正確である。 (輸入浸透率の式)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-123		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
51	208	図5	竪穴式住居（山内丸山遺跡，青森県）	誤りである。 （山内）	3-(1)	
52	208	28 - 29	各住戸は和室2～3室，玄関，台所，便所という構成であった（p.209 8）。及び、209ページ 図8 階段を中心に振り分けられた公営住宅	相互に矛盾している。 （図8では，台所兼食事室）	3-(1)	
53	213	20 - 22	いずれも1人になるためのスペースとほかの人とのコミュニケーションのための空間が分かれており，	不正確である。 （「1人になるためのスペースと」）	3-(1)	
54	214	14 - 16	照明器具からの光のほとんどが下向きで作業面に入射する直接照明と天井に向かう間接照明がある。	不正確である。 （「天井に向かう」）	3-(1)	
55	216	下	information においを取り去る換気を通気という。	不正確である。 （「においを取り去る換気を」）	3-(1)	
56	221	囲み	在来軸組工法の戸建住宅の例 雨水の侵入（2箇所）	誤記である。 （「侵入」）	3-(2)	
57	225	図41	BEMS ビル内のエネルギー監視システム CEMS 地域内のエネルギー監視システム HEMS 家庭内のエネルギー監視システム	生徒にとって理解し難い表現である。 （「監視」，「管理」）	3-(3)	
			ム CEMSにより複数家庭，ビル，地域のエネルギーを総合的に管理 BEMSによりビル内のエネルギーを総合的に管理			
58	229	中上	環境要素も清潔さで平均値より低くなりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 （健康チェックリストにおける環境要素について）	3-(3)	
59	232	図5	できる部分から循環型社会に移行すべきである	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 26-126		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 3-1		第1章 4人生をつくる ①人生90年時代を生きる 第7章 1被服の役割を考える	脱字である。 (ページ番号)	3-(2)				
			②着るとは, など						
2	24	図2	満たされているか どちらともいえない 58.1	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				
3	24	図2	(内閣府「平成23(2011)年度国民選好度調査」)	不正確である。 (「国民選好度調査」)	3-(1)				
4	30	13 - 14	「婚姻は, 両性の合意のみに基づいて成立し, …」ととくに定めて,	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)				
5	31	右	4親子・扶養に関する法律(民法)第820条 親権を行う者は, 子の監護及び教育をする権利を有し, 義務を負う。	不正確である。 (条文に照らして)	3-(1)				
6	36	13 - 14	1977年の改正で差別禁止の範囲が拡大し, (側注3 1977年の改正も同じ)	不正確である。 (「1977年」)	3-(1)				
7	50	5 - 6	乳児は, 生理的欲求を親から満たしてもらうことで喜びと満足感を得ることができ,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (愛着の形成について, 誤解するおそれがある。)	3-(3)				
8	50	側注3	ジョン・ボウルビィ(1907-1980)	不正確である。 (「1980」)	3-(1)				
9	59	図6	横軸	図は, 通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 26-126		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	60	囲み	3発達障がいに関する相談窓口 発達障害情報・支援センター（厚生労働省）	不正確である。 （「厚生労働省」）	3-(1)
11	66	図3	子どもをもって負担に感じる事	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
12	74	図2	韓国 アメリカ	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
13	82	左	3歩行の介助（まひがない場合） 両手を握って向かい合い、下から支えるようにして、相手のペースに合わせて歩く。 及び、図	相互に矛盾している。	3-(1)
14	103	左下	個人として、自治体に国民年金保険料や健康保険料を別途支払う必要がある。	不正確である。 （「自治体に国民年金保険料」）	3-(1)
15	103	右下	従業員500人以上の企業、	不正確である。 （「500人」）	3-(1)
16	105	表3	（文部科学省「平成24（2012）年度子どもの学習費調査」）	不正確である。 （「子ども」）	3-(1)
17	131	図2	抹消時計遺伝子（2箇所）	誤りである。 （「抹消」）	3-(1)
18	134	側注2	ローレル指数 ×107 側注3 カウプ指数 ×104	誤りである。	3-(1)
19	138	図3	米の成分の図	生徒にとって理解し難い表現である。 （その他の成分、各成分の値）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 26-126		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	141	下	6アミノ酸価の求め方 最も充足率の低いアミノ酸（第一制限アミノ酸）の比率をその食品の「アミノ酸価」とする。 右図 イソロイシン, リシン	生徒にとって理解し難い表現である。 (アミノ酸価について、記述が整理されていない。)	3-(3)				
			数字は、精白米の必須アミノ酸量のアミノ酸価。						
21	151	表4	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
22	153	表3	4つの食品群別摂取量の目安	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
23	155	表4	昼食 おにぎり ご飯 夕食 飯 ご飯	相互に矛盾している。 (153ページ 表4と矛盾)	3-(1)				
24	162	左下	きゅうりとトマトとしらすの酢の物 食塩…0.4g, しょうゆ…2.5mL (きゅうりの1%塩分) 砂糖 (きゅうりの1%) …0.8g かきたま汁	生徒にとって理解し難い表現である。 (割合の表示と分量)	3-(3)				
			食塩 (だしの0.6%塩分) …0.8g 163ページ 豚肉の野菜巻き サラダ油 (材料の2.5%) …2.5mL リボンサラダ サラダ油 (にんじんの20%) …6mL						
			164ページ 豚肉とこまつなの井 しょうゆ (肉の0.5%塩分) …3mL 166ページ チンゲンサイのクリーム煮 サラダ油 (野菜の10%) …10mL						
			れんこんのきんぴら サラダ油 (材料の4%) …2mL 168ページ おいなりさん 酢 (米に対して12%) …9mL 砂糖 (米の4%糖分) …0.3g						
			173ページ きゅうりと豚肉のスープ しょうゆ (肉の0.6%塩分) …0.8mL 食塩 (水の0.8%塩分) …1g						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 26-126		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
25	165	右下	キャベツとベーコンきのこパスタ 栄養価	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)				
26	170	下	きのこソテー サラダ油…2.5mL 及び、④フライパンにオリーブ油を熱し、きのこを入れる。	相互に矛盾している。	3-(1)				
27	176	図2	地図上の愛知県の位置	誤りである。 (位置)	3-(1)				
28	177	12	日本を含む東南アジア,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「日本を含む東南アジア」)	3-(3)				
29	177	図5	世界の主食	生徒にとって理解し難い表現である。 (主食の分類, 地図上のオレンジ色の囲み, パスタ・フォー・オートミールの指示線や説明など, 記述が整理されていない。)	3-(3)				
30	178	図1	横軸	図は, 通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)				
31	179	図3	リスク管理員機関	誤りである。 (「管理員」)	3-(1)				
32	181	16 - 17	2016年度までの5年間の目標値を掲げた	不正確である。 (「2016年度」)	3-(1)				
33	183	下	食生活に関わる職種 製菓衛生士	誤りである。 (「製菓衛生士」)	3-(1)				
34	191	右下	ISO (国際標準化機構) による取り扱い表示の例 漂白 塩素系漂白ができる。	誤りである。 (「塩素系」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 5 枚目

受理番号 26-126		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
35	192	下	ひとくちメモ 海島綿はカリブ海の西インド諸島で栽培されるとても高級な綿。16世紀、コロンブスによって発見され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「コロンブスによって発見され」）	3-(3)				
36	200	下	ひとくちメモ 17世紀にイギリスの海軍の制服であったセーラー服	誤りである。 （「17世紀」）	3-(1)				
37	204	下	ひとくちメモ オートクチュールとはフランス語で、顧客の体型に合わせてオーダーメイドで仕上げる高級な服のこと。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （オートクチュールについて）	3-(3)				
38	224	2	部屋と部屋との位置関係を間取りという。 5行 住空間の配置をゾーニングという。	生徒にとって理解し難い表現である。 （間取りとゾーニングの違いについて）	3-(3)				
39	230	図2	耐震構造 耐力壁、筋かいの図	生徒にとって理解し難い表現である。 （筋かい、構造用合板、耐力壁について、記述が整理されていない。）	3-(3)				
40	235	図6	集合住宅の所有区分 専有部分 各住戸の内部	生徒にとって理解し難い表現である。 （天井裏、床下）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 26-128		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	12	図7	結婚相手に求める条件	生徒にとって理解し難い図である。 (出典に照らして)	3-(3)
2	18	囲み	結婚と離婚に関する民法の条文 第762条 2. 夫婦のいずれかに属するか明らかでない財産は、	不正確である。 (「いずれかに」)	3-(1)
3	21	図15	正社員以外の労働者を活用する理由 及び、注2) 回答項目のうち、上位6項目を記載した。	相互に矛盾している。	3-(1)
4	21	囲み	雇用について、日本を100人の国にたとえてみると…。 雇われているのは？ 女性18.5人	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
5	26	下	資料2 (27ページ 資料5 資料6も同じ)	生徒にとって理解し難い表である。 (単位)	3-(3)
6	37	図9	子どもの自己中心性	生徒にとって理解し難い表現である。 (子どもの自己中心性の例示として)	3-(3)
7	44	上	みかん入りパンプディング 砂糖…15g (大きじ1)	相互に矛盾している。 (114ページ 食品の重量と容量のめやすと矛盾)	3-(1)
8	44	下	紙ヘリコプター ⑤はねに大きめの穴をあけ、プロペラ完成。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「はねに」)	3-(3)
9	54	囲み	待機児童 幼い子ども2人の生命が奪われるという事件も起きており、	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの事件を指すのかについて)	3-(3)
10	56	表	育児を支援する施策として重要と思うもの	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 26-128		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	57	囲み	育児休業と保育・教育制度の連携（フランス） 就業前教育	誤りである。 （「就業前」）	3-(1)
12	65	図12	適切な介護施設に入れられない	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
13	71	図14	二次認定審査 保険・医療・福祉の専門家による審査 （介護保険審査会）	不正確である。 （「保険」、「介護保険審査会」）	3-(1)
14	78	中	はじめり ユニバーサルデザイン 建築家であるロナルド・ロイス（アメリカ）	不正確である。 （「ロナルド・ロイス」）	3-(1)
15	78	下	バリアフリーとユニバーサルデザイン 図	生徒にとって理解し難い図である。 （バリアフリーとユニバーサルデザインの関係について）	3-(3)
16	89	図6	成人期 脂肪エネルギー比率を20～25%にし、	相互に矛盾している。 （107ページ 表16と矛盾）	3-(1)
17	90	側注1	農林水産省、厚生労働省、文部科学省 の連携で	不正確である。 （「厚生労働省、文部科学省」）	3-(1)
18	96	15 - 16	貝類・いか・えびには15～18%、魚類 には約20%含まれる。	不正確である。 （「貝類・いか・えびには15～18%、」）	3-(1)
19	99	囲み	ビタミンDと紫外線 紫外線に30分当てるだけでその量は4 倍になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （4倍となる条件について不明確）	3-(3)
20	106	表14	ふつう（Ⅱ） 接客業、	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 26-128		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	107	表15	推定エネルギー必要量 (参考表)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
22	107	表16	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
23	109	表17	食品群別摂取量のめやす	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
24	119	中	2…すまし汁 しょうゆ 塩分0.8%…1mL	生徒にとって理解し難い表現である。 (割合の表示と分量)	3-(3)
25	119	囲み	memo ほうれん草に下味をつけておくと、浸透圧の関係で野菜の水分がぬける。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「浸透圧の関係で野菜の水分がぬける。」)	3-(3)
26	121	中	2…フレンチサラダ サラダ油…8～12mL (小2～3) 123ページ 1…青椒肉絲 酒…3mL (小1/2) 125ページ 4…いりどり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「8～12mL (小2～3)」、「3mL (小1/2)」、「8mL (小2)」、「5mL (大1)」、「2mL (小1/2)」)	3-(3)
			サラダ油…8mL (小2) 126ページ 1…ちらしずし しょうゆ…5mL (大1) 133ページ 餃子 ごま油…2mL (小1/2)		
27	126	左	ちらしずし 2しいたけの戻し汁にAを加え、しいたけとかんぴょうを煮て、味を含ませる。 材料	生徒にとって理解し難い表現である。 (しいたけの戻し汁の分量が不明)	3-(3)
28	127	下	世界の米料理を見てみよう かゆ・ちまき・ビーフン ビビンバ・クッパ ドベル・ドルマス ジョロフ・ライフなど	生徒にとって理解し難い表現である。 (各国の米料理名について、記述が整理されていない。)	3-(3)
29	134	図40	日本の食料消費の変化	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 26-128		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	135	図41	農林水産省「緊急事態食料安全指針」による	不正確である。 (「緊急事態食料安全指針」)	3-(1)
31	135	図42	もし、食品の輸入がストップしたら、どんな食事になるの？	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
32	137	図44	食品ロス削減国民運動 (NO-FOODLOSS プロジェクト) のロゴマーク	誤りである。 (「削減」)	3-(1)
33	143	図2	ライフステージと衣服	生徒にとって理解し難い図である。 (「高齢期」から「乳幼児」への矢印)	3-(3)
34	144	図3	被服内湿度 (RH%)	不正確である。 (「RH%」)	3-(1)
35	145	左上	トガのイラスト	不正確である。	3-(1)
36	154	側注4	日本繊維製品・クリーニング協議会が、クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している。	誤りである。 (「クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している」)	3-(1)
37	178	上	曲家 一般的に、東側が台所で、南側に馬家が母屋の下手に接続している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「馬家が母屋の下手に」)	3-(3)
38	197	表5	住宅金融公庫は2007年に廃止され、(財)住宅金融支援機構に引き継がれた。	不正確である。 (「(財)」)	3-(1)
39	215	図18	消費者の権利と消費者の責任	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-128		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	221	囲み	高まる温暖化の実感 飯田市民の地球温暖化の実感	生徒にとって理解し難い図である。 (単位)	3-(3)	
41	225	囲み	家計収支を見てみよう 収入がいくら以上あれば貯蓄することが できるか？	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされてい ない。 (与えられた条件で算出できない。)	2-(13)	
42	225	囲み	家計収支を見てみよう エンゲル係数(消費支出に占める食料 費の割合)を算出しなさい。 及び、消費支出の費目別構成比 食料 26.6%	相互に矛盾している。	3-(1)	
43	226	6 - 7	中年以降の世帯の大きな目的は老後の 生活費である(図5)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「図5」)	3-(3)	
44	236	図2	文部科学省「子どもの学習費調査 (2012年度)」による	不正確である。 (「子ども」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 1 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	3	中	高等学校学習内容 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	不正確である。 （「学校家庭クラブ」）	3-(1)
2	7	上	外国の住まいは？ ヤマノミ族	不正確である。 （「ヤマノミ族」）	3-(1)
3	9	上	第2部 生活を創る 及び、90ページ 第2部 生活を営む	相互に矛盾している。	3-(1)
4	9	上	第3部 生活を営む 及び、210ページ 第3部 生活をつくる	相互に矛盾している。	3-(1)
5	13	6 - 7	現代では、人生が長くなり、各ライフ ステージも長くなってきている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （すべてのライフステージが長くなるかのように誤 解するおそれがある。）	3-(3)
6	13	下	2ライフステージと発達課題 壮年期 20代前半ごろ～ 及び、青年期 ～20代前半ごろ	相互に矛盾している。	3-(1)
7	13	下	マメ知識 15歳の平均余命になると、男子は 65.52年、女子は71.89年である。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
8	14	囲み	自分探しをしてみよう 自分を取り巻くもの 及び、大切な人	相互に矛盾している。	3-(1)
9	17	2	意志決定とは （同ページ 8行目 意志決定のプロ セスも同じ）	表記が不統一である。 （本文に照らして）	3-(4)
10	17	表2	ライフステージの選択例	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ライフステージの選択」）	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	18	図2	就業者及び管理職に占める女性の割合	不正確である。 (出典)	3-(1)	
12	19	右	4配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 通称DV防止法(ドメスティック・バイオレンス法)といわれる。	不正確である。 (「保護に」、「ドメスティック・バイオレンス法」)	3-(1)	
13	21	8 - 10	家族は、互いに愛情を感じ合い、心配し合う関係であると思われているが、時には重荷に感じたり、憎しみを抱いたりするなど、さまざまな感情が行き交う関係である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (家族は愛情を感じ心配し合うのではなく、重荷に感じ憎しみを抱くだけであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
14	21	13	そうした集団や場所を家庭という。及び、同ページ 3~4行 家族は、一般に、父・母、きょうだい、夫・妻など、結婚や血縁などによってつながりのある人びとやその集団	相互に矛盾している。	3-(1)	
15	23	19 - 20	家族はライフコースの中で通過する集団になりつつあることを示している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ライフコースの中で通過する集団」)	3-(3)	
16	26	図1	初婚年齢の推移	不正確である。 (「初婚年齢」)	3-(1)	
17	26	図1	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)	
18	26	囲み	結婚に関する価値観の変化 男女の対等なパートナーシップを求める夫婦が増えている。	相互に矛盾している。 (右の図と矛盾)	3-(1)	
19	27	図2	凡例 夫再婚・初婚	不正確である。 (「初婚」)	3-(1)	
20	27	囲み	指令都市	誤りである。 (「指令」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 3 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	27	表	ひとり親家庭の主要統計データ	生徒にとって理解し難い表である。 (出典に照らして)	3-(3)
22	29	図2	各国の合計特殊出生率と女性就職率 (2009) アイルランド	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
23	30	左	1日本国憲法第24条 婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)
24	31	17	直系家族、及び兄弟姉妹は互いに扶養し合う義務がある。	不正確である。 (「直系家族」)	3-(1)
25	31	18 - 19	特別の事情があるときは、三親等以内の親族(曾祖父・おじ・おば・おい・めいなど)においても扶養義務が生ずることもある。	不正確である。 (「曾祖父」)	3-(1)
26	33	10	同棲カップルを保護する法律	相互に矛盾している。 (同ページ 11～15行 本文と矛盾)	3-(1)
27	33	図3	凡例	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
28	33	図3	厚生労働省政務統括官付政策評価官室作成	不正確である。 (「政務統括官付」)	3-(1)
29	34	9 - 10	1994年の国際家族年では、一つの理想的な家庭像を追及することをさけるべきだと宣言され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「一つの理想的な家庭像を追及することをさけるべきだと宣言され」)	3-(3)
30	35	3 - 6	近年では、家族の集団性を強調するのではなく、個人と個人の関係性のもとに家族をとらえるようになってきており、家族のとらえ方も変化しつつある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「個人と個人の関係性のもとに家族をとらえるようになってきており」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 4 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	35	図3	年齢別労働力率の推移	生徒にとって理解し難いグラフである。 (単位)	3-(3)
32	38	下	マメ知識 3人に1人の割合で、胎内記憶をもっていることが調査により判明した(産婦人科医 池川明による調査)。陣痛から誕生までの「誕生記憶」、お腹に来	生徒にとって理解し難い表現である。 (「誕生記憶」、 「中間生記憶」などの胎内記憶について)	3-(3)
			る以前の「中間生記憶」などにも分けられる。		
33	42	9 - 11	愛着から得る安心感から、6か月ころから、あちこち動き回ったり、なんでもなめたりさわったりする探索活動を盛んに行うようになる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「6か月ころから、」)	3-(3)
34	42	図1	社会的微笑(3か月ころ～) 親など特定の親しい人を区別した微笑	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (社会的微笑の説明として)	3-(3)
35	47	9	既成の玩具を	誤記である。 (「既成」)	3-(2)
36	47	19 - 20	遊ばせっぱなしにしりにしたりすることが、	誤記である。 (「しりに」)	3-(2)
37	49	2 - 4	子どもはおとなの生活を間近で見、模倣しながら自らの生活に取り入れていくことから、子どもの基本的生活習慣の形成におとなの生活のしかたが与える影響は大きいと言える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (社会的生活習慣の記述として)	3-(3)
38	49	下	マメ知識 乳幼児のお昼寝時間は1時間から2時間くらいがよいとされている。 48～49ページ 図1 睡眠	生徒にとって理解し難い表現である。 (乳幼児のお昼寝について)	3-(3)
39	53	5 - 6	また、直接なかかわりだけでなく	生徒にとって理解し難い表現である。 (脱字、文の欠落)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	54	1	2子どもとふれ合ってみよう	相互に矛盾している。 (10ページ 第1部もくじと矛盾)	3-(1)	
41	56	下	マメ知識 スウェーデンでは男性も最低2か月は 必ず育児休業を取得するよう義務づけ られている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スウェーデンの育児休業について)	3-(3)	
42	58	10 - 11	子ども・子育て新制度 59ページ 下囲み 「子ども・子育て支援新制度」	表記が不統一である。	3-(4)	
43	58	図3	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸)	固有 3-(1)	
44	61	図4	虐待を行った者 実父以外の父 29.0%	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)	
45	63	6	児童自立支援施設や情緒障害児多岐治療,	誤りである。 (「情緒障害児多岐治療」)	3-(1)	
46	66	13 - 14	交流するときは、言葉がはっきり伝わる ために、表情や態度にもめりはりがある とよりよいかかわる。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
47	66	図2	高齢者と交流したいと思っている世代	不正確である。 (「高齢者と交流したい」)	3-(1)	
48	69	中	(45とも厚生労働省「国民生活基礎調査」 2011年)	不正確である。 (「2011年」)	3-(1)	
49	73	表3	(厚生労働省「厚生労働白書」2014年)	不正確である。 (「2014年」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 6 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
50	73	囲み	高齢化の地域差 沖縄県	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
51	76	図2	要介護度別にみた同居の主な介護者の 構成割合	不正確である。 (「介護者の構成割合」)	3-(1)
52	76	図2	要介護 ³ その他 6.6	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
53	77	中	③首の後ろから、まとめて脱がせる(左図)。	誤記である。 (「左図」)	3-(2)
54	78	16 - 17	高齢者の生活を支える基本的な法律として、老人福祉法、老人保健法、介護保険法がある。 (同ページ 2高齢者の生活を支える基本的法律 老人保健法も同じ)	不正確である。 (「老人保健法」)	3-(1)
55	78	左下	3基本的法律を補足する法律 ・交通バリアフリー法	不正確である。 (「交通バリアフリー法」)	3-(1)
56	80	側注1	地域における高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防事業、ケアマネジメントなどを行っている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (地域包括支援センターの業務について)	3-(3)
57	83	右下	1自助・共助・公助の役割分担 公助 自分たちのまちは自分たちで守る	生徒にとって理解し難い表現である。 (公助の説明として)	3-(3)
58	83	右下	1自助・共助・公助の役割分担 共助 行政連携による救出活動など	生徒にとって理解し難い表現である。 (共助の説明として)	3-(3)
59	83	右下	他にどんな自助・共助・公的があるかな?	誤記である。 (「公的」)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
60	85	7 - 8	地域住民の民政委員	誤記である。 （「民政」）	3-(2)	
61	90	左	第2部もくじ 第1章 ④たんぱく質	相互に矛盾している。 （108ページと矛盾）	3-(1)	
62	94	図1	栄養素等摂取量の推移	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)	
63	94	図2	PFCバランスの比較	生徒にとって理解し難い図である。 （図の説明が不足している。）	3-(3)	
64	95	6 - 7	ひとりで、家族が食事を囲んでそれぞれが違うものを食べる個食、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ひとりで、」）	3-(3)	
65	98	下	インド料理圏 カレーなどの各種香辛料を多用し、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「カレーなどの各種香辛料を」）	3-(3)	
66	100	上	気候・風土が生み出す多様性 二十四節季の区分に分けられる。	不正確である。 （「二十四節季」）	3-(1)	
67	100	下	考えてみよう 農産漁村	誤記である。	3-(2)	
68	102	下	マメ知識 準完全栄養食品といわれる卵や牛乳ですら、ビタミンCは含まれていない。	不正確である。 （卵や牛乳に含まれる栄養素について）	3-(1)	
69	103	図3	胃 胃液によってさらに分解する。 小腸 脂質は脂肪酸とグリセロールに	不正確である。 （「胃液」、「脂肪酸とグリセロールに、」）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
70	104	表1	二糖類 乳酸	誤りである。 （「乳酸」）	3-(1)	
71	105	表2	食品 (g)	誤りである。 （「(g)」）	3-(1)	
72	105	表4	ビタミンB1 でんぷんが糖質に変わり	誤りである。 （「B1」, 「糖質」）	3-(1)	
73	105	囲み	もち米がもちになるのは？ ご飯が冷めると美味しくないのはなぜ？の図	生徒にとって理解し難い図である。 （アミロペクチン, アミロース, 生でんぷん, 糊化などについて, 記述が整理されていない。）	3-(3)	
74	107	図4	脂肪酸の構造	生徒にとって理解し難い図である。 （図の3色の○について, 説明がない。）	3-(3)	
75	107	図6	同じ食材でも脂質量が違う	生徒にとって理解し難い表現である。 （食材の量, 初ガツオの写真）	3-(3)	
76	108	14 - 15	大豆・大豆製品が植物性の食品の中ではたんぱく質を多く含んでいる (3)。	誤りである。 （「3」）	3-(1)	
77	108	表3	卵の調理性 調理例 ソース 表下 チーズは牛乳を酵素や酸で固め, 発酵させたもの。ヨーグルトは牛乳を乳酸菌で発酵させてつくる。紀元前	生徒にとって理解し難い表現である。 （ソース, チーズ, ヨーグルトと卵の調理性について）	3-(3)	
			から製造され, 数百種類がある。			
78	109	表4	アミノ酸のもともめ方 アミノ酸評点パターン トリプトファン 食パンの値 32 表下 アミノ酸含量はアミノ酸成分表2013表による。	不正確である。 （「アミノ酸の」, 「アミノ酸評点パターン」の数値の単位, 「32」, 「2013表」）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 9 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
79	109	図5	リシンが少ない食パンとリシンが多い牛乳を組み合わせた例及び、食パン、卵、フレンチトーストの図	相互に矛盾している。	3-(1)
80	111	1	6ビタミン	生徒にとって理解し難い表現である。 (104~110ページ 他の栄養素についてのタイトルと異なる理由について、理解し難い。)	3-(3)
81	111	図3	ビタチン	誤りである。 (「ビタチン」)	3-(1)
82	111	側注3	600 μ g	表記の基準によっていない。 (「 μ 」)	3-(4)
83	111	表4	ビタミンのはたらき 表中の項目 骨訴しょう症	誤りである。 (「名称」, 「骨訴しょう症」)	3-(1)
84	111	下	マメ知識 ビタミンFやビタミンGなどは、その後ビタミンとは呼べないことがわかり	不正確である。 (「ビタミンG」)	3-(1)
85	114	囲み	考えてみよう 次の食べ物は何の栄養素を多く含んでいるか考えてみよう。 イラスト、吹き出し	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を考えるのかについて不明確)	3-(3)
86	115	図2	13か月以上は年月で表示	不正確である。 (「13か月」)	3-(1)
87	122	表	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
88	122	下	マメ知識 エネルギー(熱量素)は計算できる。	不正確である。 (「(熱量素)」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
89	123	下	食品群別摂取量のめやすを満たす食品構成の例 めやす量 穀類 男400g 124ページ 考えてみよう めやす量 穀物 男400g, 油脂 女20g	相互に矛盾している。 (123ページ 年齢別・性別の食品群別摂取量のめやすと矛盾)	3-(1)	
90	124	下	考えてみよう メニューを開こう→	生徒にとって理解し難い表現である。 (「開こう」)	3-(3)	
91	130 - 131		かぼちゃの煮物 材料 水, A 及び, つくり方2 豆腐と三つ葉のすまし汁 材料 だし 汁, こんぶ, かつおぶし, 水 及び, つくり方1	相互に矛盾している。	3-(1)	
			134～135ページ 炒麺 材料 A 及び, つくり方4 138ページ コールスロー 材料 サ ラダ油, A 及び, つくり方2 142ページ ピザ 材料 ピザソース			
			及び, つくり方3 144ページ 杏仁豆腐 材料 寒天粉 及び, つくり方2			
92	130	上	和食の献立をつくろう 栄養価 (136ページ ドライカレー, 137ペー ジ 親子どんぶりも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)	
93	131	下	マメ知識 たんぱく質は50度以上で分子の結合が 切れ, 金属に付着するが,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「たんぱく質は50度以上で分子の結合が切れ, 」)	3-(3)	
94	133	右	肉類の部位 (牛肉) 水色の部分	生徒にとって理解し難い表現である。 (部位の記述がない。)	3-(3)	
95	138	右	きんぴらごぼう 材料, つくり方2 及び, 写真 139ページ 即席漬け 材料, つくり 方3 及び, 写真 146ページ 焼売入りスープ 材料	相互に矛盾している。	3-(1)	
			及び, 写真 オムレツ 材料, つくり方 及び, 写 真 炒飯 材料, つくり方 及び, 写真			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 11 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
96	139	右	ナムル 材料 大豆もやし…大さじ3	生徒にとって理解し難い表現である。 (「大さじ3」)	3-(3)				
97	145	上	マドレーヌ 3 木杓じゃく子しで	誤記である。	3-(2)				
98	147	左	大根の葉の炒め煮 砂糖…6g (大さじ1) ごま油…1.2g (大さじ1)	相互に矛盾している。 (127ページ 食品の容量と重量の関係と矛盾)	3-(1)				
99	148	図1	各国の食料自給率	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (目盛りと目盛り線の対応)	固有 3-(1)				
100	150	7 - 8	世界では7人に1人①が飢餓で苦しんでいる。	相互に矛盾している。 (側注①の値を用いての計算値と矛盾)	3-(1)				
101	151	中	ファイブ・ア・デイ	誤記である。 (「ファイブ」)	3-(2)				
102	153	下	マメ知識 衣服は、上着、スカート、ズボン、下着、コートなど人間の胸部をおおうものの総称。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「胴部」)	3-(3)				
103	155	8 - 10	日本の和服は、奈良時代に高位の男性が主として上衣(袍)と袴、女性が上衣と裳を組み合わせていたものが、江戸時代になって庶民も現代の着物と同じ着方になった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現代の着物の由来について)	3-(3)				
104	157	8 - 9	人に与える第一印象の決定因子は、見た目が多く占めるといわれる。 (図2 メラビアンの法則も同じ)	誤りである。 (メラビアンの法則について)	3-(1)				
105	157	右	3色と服装の効果的な活用 色の組み合わせによって異なる感じや印象を生み出す。 及び、図	相互に矛盾している。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
106	159	下	マメ知識 日本のストリートファッションは、 1970年代の高度経済成長期に始まった。 ベビーブーマーの若者たちがティーン・エイジャーとなり、銀座、六本木	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ストリートファッションについて)	3-(3)	
			、渋谷に集まり、欧米の影響を受け入れたファッションスタイルを共有した。			
107	160	表2	取扱い絵表示(家庭用品品質表示法) ISO	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (家庭用品品質表示法においてISOが引用されているかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
108	161	下	その他のマーク NEW WOOL 100%ウールマーク	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「NEW WOOL 100%ウールマーク」)	3-(3)	
109	161	下	その他のマーク コットンマーク 紡績から縫製まで日本製で、綿100% 製品につけられる	不正確である。 (「コットンマーク」, 「紡績から縫製まで日本製で」)	3-(1)	
110	161	下	その他のマーク おむつカバーの合格証	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (マークが不明瞭)	2-(1)	
111	161	下	その他のマーク SEKマーク 抗菌加工、防菌防臭加工繊維製品など につけられる表示	不正確である。 (「防菌」)	3-(1)	
112	163	表3	ポリエステル 強さ、速乾性、寸法、安定性がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「寸法」がある)	3-(3)	
113	165	表5	防災、難炎加工	不正確である。 (「難炎」)	3-(1)	
114	167	表2	食物性繊維	誤りである。 (「食物性」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 13 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
115	167	表2	動物性繊維 (163ページ 5行 動物繊維)	表記が不統一である。	3-(4)
116	173	15	反物の着るどころ	誤記である。 (「着る」)	3-(2)
117	173	下	2平面構成の衣服と展開図 図	不正確である。 (女性のえり)	3-(1)
118	173	右上	いらなくなった衣服をほどいてみよう。 どんな部分からできているだろう。 図	生徒にとって理解し難い図である。 (袖ぐり線)	3-(3)
119	174	中	3型紙の製作 及び、3型紙の作成	相互に矛盾している。	3-(1)
120	176	右上	3しるしつけ 右図 合いじるし 表	不正確である。 (「表」)	3-(1)
121	176	右下	布目の正し方 ゆがんでいる方とは逆方向に布を引っ 張る。 及び、図	相互に矛盾している。	3-(1)
122	178	右下	縫い方 本縫いの順序 ②また上を縫う。 及び、②の図	相互に矛盾している。	3-(1)
123	180		縫い方 1背縫いの図 及び、2背縫いの図	相互に矛盾している。	3-(1)
124	181	右上	応用例 甚平 前身ごろ 図	誤りである。 (「そでつけどまり」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 14 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭総合		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
125	183	左下	2見返しのつけ方 見返しの縫いしろのしまつをし、エプロン布と中表に重ね、及び、2の図	相互に矛盾している。	3-(1)				
126	183	左下	2見返しのつけ方 図	生徒にとって理解し難い図である。 (中央の布)	3-(3)				
127	184	左	素材の準備 ・布綿：25cm×25cm 及び、裁ち方 図 21, 23.5	相互に矛盾している。	3-(1)				
128	185	右下	縫い方 ③の図 まち幅20	誤りである。 (「20」)	3-(1)				
129	186	左	1衣服1枚あたりの製造に必要な石油量	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
130	188	7 - 9	1℃で約10%のエネルギー消費量が減少するという試算もある。1℃で約10%のエネルギー消費量が減少するという試算もある。	誤記である。	3-(2)				
131	188	下	オーガニックコットンマーク 図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (オーガニックコットンに付けられるマークがこれのみであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
132	190	囲み	考えてみよう 日干しを上へと積み上げていく	不正確である。 (「日干し」)	3-(1)				
133	194	6	平野の配置や	誤記である。 (「平野の」)	3-(2)				
134	194	図1	道路の位置と敷地の方角	生徒にとって理解し難い図である。 (敷地の方角について)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
135	195	図2	平面図及び、住居を真上から見下ろした図	相互に矛盾している。	3-(1)	
136	196	15 - 19	住まいを取得したい人どうしが集まり、話し合いを重ねながら建築家とともに作り上げていく集合住宅であるコーポラティブハウジングや、食堂や家事スペース、休憩室や作業室などの共同	生徒にとって理解し難い表現である。 (共に住む住まいについて)	3-(3)	
			スペースをもちつつも各住戸の独立性が確保されたコレクティブハウジングなど、 図2 コレクティブハウジング 現代長屋「TEN」			
			入居する人たちと建築家が意見を交換しながら設計を行う。			
137	198	15	冬夏は熱を逃がさないよう閉じることが大切である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「冬夏は熱を逃がさない」)	3-(3)	
138	198	図1	10-3MJ	誤りである。 (「-3」)	3-(1)	
139	198	囲み	窓表面温度の比較	生徒にとって理解し難い図である。 (図の説明が不足している。)	3-(3)	
140	199	囲み	暖房器具はどこに置く？窓際それとも室内奥？ 放熱器を室内に置くと窓面の冷たい空気は、床面に直接流れ込むため、床面と天井面の温度差が大きくなる。一方	生徒にとって理解し難い表現である。 (「窓面の冷たい空気」、「窓から入っている冷たい空気」)	3-(3)	
			、放熱器を窓際近くに置くと窓から入っている冷たい空気が暖められ、床面と天井面の温度差が小さくなって快適性が増す。			
141	200	1	2 きれいな空気、心地よい音	タイトルが、200～201ページの記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(12)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 16 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
142	201	図3	住宅の照度基準	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
143	202	図1	年齢別家庭内事故死の割合	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
144	203	図4	修繕・改修による住宅の性能回復	生徒にとって理解し難い表現である。 (「修繕」、「改修」、「改築」、「改善」、横軸)	3-(3)
145	206	表1	用途地域と建築制限の例	不正確である。 (用途地域内の建築物の制限の表として)	3-(1)
146	209	図3	世田谷区深沢環境共生住宅 中央の写真下 ソーラーパネル	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ソーラーパネル」)	3-(3)
147	214	囲み	収入の減少 平均月間給与の推移	不正確である。 (出典)	3-(1)
148	215	5	財産高を減らさない収入を実収入以外の受取という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「財産高を減らさない収入」)	3-(3)
149	215	7 - 8	財産高を増やさない支出を実支出以外の支払という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「財産高を増やさない支出」)	3-(3)
150	215	下	マメ知識 大卒では200,400万円/月である。	誤記である。 (「200,400万円」)	3-(2)
151	216	下	マメ知識 金利0.03%で10万円を預けると、1年後に100,299円になる。	誤りである。 (「100,299円」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 17 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
152	219	図3	ライフステージ別消費構造	生徒にとって理解し難い図である。 (縦軸)	3-(3)
153	219	図3	35歳未満女性単身世帯	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
154	220	左上	1国内総生産の構成比 (消費者省「平成26年版消費者白書」)	不正確である。 (「消費者省」)	3-(1)
155	221	図3	対外取引・援助 貿易・投資	生徒にとって理解し難い図である。 (矢印)	3-(3)
156	221	図3	家の図 中央政府	誤りである。 (「中央政府」)	3-(1)
157	223	右下	使用した結果を商品の良し悪しや使い勝手、状況に応じて廃棄方法について自治体の回収方法を把握しよう	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
158	224	図1	ネットショッピングの売り上げ増加	生徒にとって理解し難い図である。 (数値の意味)	3-(3)
159	229	囲み	消費者からの声をいかした商品改善事例 カップ麺の蓋にお湯の目安量を載せた。及び、写真	相互に矛盾している。	3-(1)
160	232	11 - 12	消費の自立が求められたため、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「消費の自立」)	3-(3)
161	232	左	事業者の責務 ④苦情の体制を整備し、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「苦情の体制」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 26-130		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
162	235	図2	OECD諸国の一次エネルギー自給率比較	生徒にとって理解し難い図である。 (縦軸)	3-(3)	
163	236	表1	2002国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年スタート	不正確である。 (「2002」)	3-(1)	
164	238	囲み	生活協同組合 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (生活協同組合の説明として)	3-(3)	
165	241	図2	男女間賃金格差の国際比較	生徒にとって理解し難い図である。 (数値の意味, データの年度)	3-(3)	
166	246	図1	厚生労働省「健康管理に関する調査」	不正確である。 (「健康管理」)	3-(1)	
167	248	29 - 30	ワークバランスをはかった生活が実現している。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ワークバランス」)	3-(3)	
168	249	1	社会保険の加入状況による保持の違い	誤記である。 (「保持」)	3-(2)	
169	249	左	吹き出しの例を参考に	生徒にとって理解し難い表現である。 (「吹き出しの例」)	3-(3)	
170	249	右上	非正規社員(社旗保険に加入していないとする)	誤記である。 (「社旗保険」)	3-(2)	
171	252	中	いま, なんじ? 自分の身近な生活を改めて見回してみると, さまざまな生活課題があることに気づく。それらの課題から自分の力でできるテーマを決める(実践例参照)	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

19 枚中 19 枚目

受理番号 26-130		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭総合	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
)。		
172	257	中	朝食 ピザトーストの具はさまざまな色、形のビーズやボタンを使った。黒ビーズを使っていちごの種を表現した。	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。